

「青少年のための科学の祭典 2022」奈良大会 開催要項

令和4年 8月 25日
「青少年のための科学の祭典」奈良大会
実行委員長 常田 琢
(奈良教育大学)

1. 開催主旨

科学技術の高度化が急速に進み、私たちの日々の生活は多くの科学技術に支えられています。しかし、そのような科学技術の中身は複雑で容易に知ることはできません。また子どもたちが科学を広く深く知る機会は多くありません。

私たち「青少年のための科学の祭典」奈良大会実行委員会は、下記団体とともに、奈良県下の若い人たちに科学の面白さ、夢中になって追求する楽しさ、ものづくりに打ち込む充実感を知ってもらうことを目標に、「青少年のための科学の祭典 2022」奈良大会を開催します。

新型コロナウイルスの影響により、2020年度、2021年度は開催中止としました。23回目となる今大会は、感染拡大防止の観点から例年の半分の規模で実施します。私たちは、この大会で講師の方々との直接のふれあいを通して、若い人たちが科学により興味や関心を抱き、論理的な考え方や科学的な物の見方を育んでくれることを期待しています。

2. 行事名 「青少年のための科学の祭典 2022」奈良大会

3. 開催日時 令和4年11月13日(日)、午前10時～午後4時

4. 開催場所 奈良教育大学 (〒630-8528 奈良市高畑町)

5. 内容 理科、算数・数学、情報、技術等の分野で演示・実験、科学工作などを出展

6. 主催 「青少年のための科学の祭典」奈良大会実行委員会

7. 共催 公益財団法人日本科学技術振興財団

8. 後援(予定) 奈良教育大学、奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、日本物理教育学会近畿支部、文部科学省、奈良県教育委員会、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、和歌山県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良県高等学校理化学会、奈良県生物教育会、奈良県中学校理科教育研究会、奈良県小学校理科教育研究会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、奈良新聞社、産経新聞社、朝日新聞奈良総局、読売新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、奈良テレビ放送

9. 協賛(予定) 株式会社新興出版社啓林館

10. 参加範囲

出展者 : 奈良近隣の数学・理科教員、生徒・学生、企業研究者ほか (30ブースの出展を想定)
対象 : 小・中・高校生、高専生、大学生その他一般 (参加者数は約400名。事前申し込み制)
広報 : ポスター・チラシ、テレビ・新聞による報道、インターネット

11. 入場料 無料 (事前参加申込み制)

12. 連絡先等

「青少年のための科学の祭典」奈良大会 実行委員会事務局 : 片岡 佐知子
〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 理数教育研究センター
Tel/Fax: 0742-27-9278 ・ E-mail: kagaku@vivaldi.ics.nara-wu.ac.jp
HP: <http://vivaldi.ics.nara-wu.ac.jp/kagaku/>

※この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)からの助成を受けています。
※今後の感染状況により開催中止、または内容を変更する場合があります。

〈新型コロナウイルス感染防止対策〉

- 基本的な方針は、「青少年のための科学の祭典」全国大会におけるガイドライン
(<http://www.kagakunosaiten.jp/convention/pdf/COVID-19taisakuguidelines.pdf>)に準拠する
- 感染拡大防止の観点から、原則として1教室につき1ブース(大教室を除く)の配置とする。例年よりも規模を縮小し、ブース数は最大で30ブースとする。また、各ブースに消毒液を配置し、会場内の常時換気を徹底する。
- 来場者は事前申込み制として人数制限を行う。来場者数は例年の半数程度とし、上限を400名とする。また、定員制・定時制で実施するブースについては、会場内での混雑を回避するために、当日の整理券配布や抽選は行わずブース毎に事前申込み受付・抽選を行い、事前に参加者を決定する。
- 出展者・来場者に基本的な感染防止対策を呼びかける
 - 事前の検温・体調チェックを行う
 - マスクを正しく着用し、咳エチケットを徹底する
 - こまめな手洗い・手指消毒の励行を徹底する
 - 3密を回避する
 - ソーシャルディスタンス(最低1m、できれば2m)を保つ
 - ブース内での飲食は禁止とする(水分補給は除く)
 - スマートフォン利用者にはCOCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)の利用を推奨する
- 以下に該当する方の入場をお断りする。
 - 事前登録(出展者登録や参加登録)を行っていない場合
 - マスクを正しく着用していない場合(乳幼児は除く)
 - 受付時の検温や手指消毒にご協力いただけない場合
 - 37.5度以上の発熱等の風邪症状がある場合
 - 1週間以内に感染者との濃厚接触がある場合
 - 日本へ入国又は帰国した者にあつては、滞在していた国・地域の区分に応じて設定された待機期間(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)を経過していない場合
- 出展代表者は出展スタッフ名簿を事前に提出するとともに、スタッフの健康管理を徹底する。開催当日に、スタッフ全員の検温結果と健康チェックを記入した用紙を事務局に提出する。また、祭典終了後7日間は健康観察を行い、発熱した(新型コロナウイルスに感染した疑いのある)スタッフがいた場合は、すみやかに事務局まで連絡する。